

2010年10月25日

「JCOM2010」2ndサーキュラー

菌根研究会会員各位

菌根研究会事務局

拝啓

皆様ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、2010年度菌根研究会大会（JCOM2010）のプログラムが下記の通り決定いたしましたのでご案内申し上げます。一応、参加申し込みは締め切っておりますが、大会参加を希望される方は早急にお申し込みください。

敬具

記

開催日時：2010年11月27日（土）13：00～（総会・講演会・懇親会）

大会会場：千葉大学園芸学部 E棟合同講義室（総会・講演）および生協食堂（懇親会）

大会参加費：会員：無料

非会員：1,000円（但し2度目以上の方は2,000円）

懇親会参加費：3,000円程度（会員，非会員とも）

申し込み、お問い合わせ先：

菌根研究会 2010年度大会事務局

〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648

千葉大学園芸学部 坂本一憲 宛

E-mail: ksakamoto@faculty.chiba-u.jp

交通：千葉大学園芸学部ホームページの所在地・アクセス(<http://www.h.chiba-u.jp>)にてご確認願います。

宿泊：（松戸駅周辺）ビジネスホテルゲイツイン 047-368-8111、

松戸シティホテル SENDAN-YA 047-362-0711

ホテルシノザキ 047-367-3000

（北松戸駅周辺）ホテルルートイン北松戸駅前 047-369-5511

（新松戸駅周辺）新松戸ホテル 047-346-2001

新松戸ステーションホテル 047-343-7111

以上

## 2010年度菌根研究会大会 (JCOM2010) プログラム

2010年11月27日 (土)

12:00 – 13:00 受付 (園芸学部 E 棟入口)

13:00 – 13:30 総会 (園芸学部 E 棟合同講義室)

13:30 – 17:45 講演 (園芸学部 E 棟合同講義室)

18:00 – 20:00 懇親会 (園芸学部生協食堂)

13:30 アーバスキュラー菌根菌の耐酸性はパイオニア植物の強酸性環境への適応に必須である

○河原愛・大崎満・江澤辰広 (北大院農)

13:45 強酸性地盤における耐酸性菌根菌を活用した緑化工

○石垣幸整<sup>1</sup>・堀江直樹<sup>1</sup>・江澤辰広<sup>2</sup> (<sup>1</sup>日特建設(株)、<sup>2</sup>北大院農)

14:00 重金属高蓄積植物へビノネゴザに定着するアーバスキュラー菌根菌の同定

○和田瀬里奈<sup>1</sup>・坂本一憲<sup>1</sup>・吉原利一<sup>2</sup>・後藤文之<sup>2</sup> (<sup>1</sup>千葉大院園芸、<sup>2</sup>電中研)

14:15 富士山火山荒原菌根性植物の混植効果ーフジアザミからクサボタンへの菌根菌感染ー

○宮田正規<sup>1</sup>・呉炳雲<sup>2</sup>・Zaal Kikvidze<sup>1</sup>・福田健二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大院新領域、<sup>2</sup>東大院農学生命科学)

14:30 果樹類白紋羽病の温水治療法がアーバスキュラー菌根共生感染ポテンシャルに与える影響

○柳原巧<sup>1</sup>・森田剛成<sup>2</sup>・井上幸次<sup>3</sup>・西村恵里<sup>4</sup>・中村仁<sup>5</sup>・久我ゆかり<sup>1</sup> (<sup>1</sup>広島大院総合科学、<sup>2</sup>広島県農技セ、<sup>3</sup>岡山県農総セ、<sup>4</sup>広島大総合科学、<sup>5</sup>果樹研)

14:45 サクライソウ科、ホンゴウソウ科の無葉緑植物とアーバスキュラー菌根菌の特異的な菌根共生

○大和政秀・谷亀高広・霜村典弘、岩瀬剛二 (鳥大農)

15:00 独立栄養性ラン科植物サイハイランの菌根共生

○谷亀高広<sup>1</sup>・吹春俊光<sup>2</sup>・岩瀬剛二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鳥大農、<sup>2</sup>千葉中央博物館)

15:15 各種林分におけるギンリョウソウ菌根菌の分子系統解析

○廣瀬俊介<sup>1</sup>・岩瀬剛二<sup>2</sup> (<sup>1</sup>鳥大院農、<sup>2</sup>鳥大農)

休憩 (15:30~15:45)

- 15:45 外生菌根共生系における炭素転流  
○寺本宗正・呉炳雲・宝月岱造（東大院農学生命科学）
- 16:00 アーバスキュラーおよびラン菌根菌の保持する Partitivirus の系統進化学的位置は Partitiviridae 科ウイルスの植物-真菌間水平伝搬説を支持する  
○池田庸二<sup>1</sup>、志村華子<sup>1</sup>、大崎満<sup>1</sup>、松本直幸<sup>2</sup>、増田税<sup>1</sup>、江澤辰広<sup>1</sup>（<sup>1</sup>北大院農、<sup>2</sup>北海道農研セ）
- 16:15 アーバスキュラー菌根菌の保持する新規 dsRNA ウィルス:ゲノム構造および系統進化学的位置  
池田庸二<sup>1</sup>、志村華子<sup>1</sup>、大崎満<sup>1</sup>、松本直幸<sup>2</sup>、増田税<sup>1</sup>、○江澤辰広<sup>1</sup>（<sup>1</sup>北大院農、<sup>2</sup>北海道農研セ）
- 16:30 トウモロコシにおけるストリゴラクトン類分泌プロファイルは共生・寄生物の受容性と関係する  
○石本圭子<sup>1</sup>、米山香織<sup>2</sup>、小林創平<sup>4</sup>、信濃卓郎<sup>4</sup>、大崎満<sup>1</sup>、横田孝雄<sup>2</sup>、米山弘一<sup>3</sup>、江沢辰広<sup>1</sup>（<sup>1</sup>北大学院農、<sup>2</sup>帝京大バイオ、<sup>3</sup>宇都宮大雑草研、<sup>4</sup>北海道農研セ）
- 16:45 アーバスキュラー菌根菌外生菌糸におけるポリリン酸超集積時のトランスクリプトーム：リン酸吸収・濃縮・輸送に関わる遺伝子群の発現ネットワーク  
○菊池裕介、土方野分、谷千春、大崎満、江沢辰広（北大院農）

座長：岩瀬剛二（鳥取大学）

17:00 特別講演（17:00～17:45）

「細胞の中で生きる：葉緑体と核とのつきあい方」

○田中 寛（千葉大院園芸）

懇親会（18:00～20:00）